



### 前年以上の出入 平市の七夕祭

#### 昨日平驛の乗降一萬に近づく 愈よ今日は中日の賑はひ

平市名物の七夕祭の第一日昨日は観衆の賑はひを呈した。十一日夜の賑はひは豫期の如く非常な人出を見せて観衆は夜半まで絶えなかつたが出盛りの賑はひを少なくも四萬人と云はれる平驛の乗降は九千九百七十名で昨年の當日より二百八名を増加し今日十二日は全盛の中日である。為め同驛の乗降午前中に於て既に平日の量を超える感況から前年當日の一萬六千四百六十一人に比し三、四割の増加を見込まれ驛では輸送に遺憾のない手配をとつてゐる。

### 平の七夕視察

#### 水戸事務所営業係長松本富三氏は昨日一日来平し、平市の七夕祭の見事さを視察して今日十二日午前歸所した

水戸事務所所長高橋所長は湖江運船係長と共に今日十二日午後三時半来平市内七夕祭の状況を夜に直つて視察をなす

### 七夕祭の雑沓に 迷兒

昨十一日夜二名  
平市七夕祭の第一日昨十一日

### 銃後運動協議

#### 好問の婦人団体 石城郡好問村の愛國婦人会、女子青年團、國防婦人会は今日十二日午前十時から同村小學校に聯合會を開催し國防献金その他の銃後の運動について協議した

### 氏名を語らず國 防費へ金一圓

平市市南町理髮業早川けさの(三三)さんは去る十日午後金一圓在中の封筒を平市の窓口にに入れて名も語らず立ち去つたが同防費へ献金を託されたもので奇特の行爲に同署の調査で前記けさのさんと判つた

### 平市職業紹介所で 大量求人斡旋二つ

#### 一つは大坂一つは東京

平市職業紹介所では大坂市此花區馬屋町の住友金屬工業會社神鋼所から本縣に對して男約一七五名の求人を見込まれたので目下斡旋中であるが採用の條件は二十才以上二十五才までのもので高等小學校卒業または同等程度、来る十九日まで希望をとつてゐるが右に對しては本月二十三日福島市職業紹介所で設備の上採用を決定すると又東京市下谷區上車坂町日本燃氣株式會社では同社川口市工場に平地方から十名の男子を求人これも近く申込みを締切る筈だが資格は高

### 印紙税定期 集合検査

平稅務署では来る十六日から左記の日程で本年度印紙税定期検査を執行の筈だが検査を受けるべき物件は  
證券類(消費貸借に關する)  
帳簿にして營業に關するもの一切例へば物品切手、委任狀、營業に關する

### 常識講座

エキステンションは上海の日本軍撤收區域に用ひられた語で租界延長道路と云ふ意、去る九日我が大山中尉と齋藤水兵が虐殺された箇所がエキステンションロードと云ふは其の意

### 受取書等

帳簿(判取帳、通帳、日掛無蓋) 地代、家賃等の通帳(を含む)  
もて當日検査に提供されたものは假りに無印紙等による違反があつても即時修正すれば處分されず又當日検査を受けなかつた或は受取書物件が少なかつたと認むるものに對しては後日臨時検査を行ひ犯

### 平市の共同販賣米 前回より約十錢安

#### 六百八十俵不調となる

昨日の平市に於ける俵米共同販賣は豫期の如く下値に向いて七百三十俵の中六百八十俵不調となり一千五百俵だけ取引された相場は左記の如く前日に比し約十錢安である  
平倉庫五九俵、二號五〇俵、三號五八俵(何れも双葉米)、四、五、六、七、八號各一

### 平市内の卅三區長 十五區と三十區は未定

平市では去る十日の市會に於て區長及び區長代理者全部の改選を行つたが十五區(胡摩澤)及び三十區(中平窪)の兩區は来る本會議まで保留その他三十一區(全部で三十三區)は左記に決つた  
▲第一區(長橋)川角兼吉  
2(研町)木澤松松 3(紺屋)山野越太郎 4(田町)石坂登太郎 5(二丁目)明智榮司 6(二丁目)山崎孝之助  
7(三丁目)梅原利三郎 8(四丁目)星野清治 9(五丁目)山部政治 10(新川)風間福榮 11(材木)鈴木要七 12(銀治)酒井政之助 13(南町)青木秀次 14(久保)青木甚平 15(保留)  
16(北白銀)小野藤太郎 17(仲町)吉田鎮政 18(練田)草野七三之助 19(立町)佐藤榮吉 20(堤の内)鈴木徳三郎 21(南白銀)野崎喜八郎 22(大工)石澤茂 23(才植小路)廣木正一 24(

### 明日着任

#### 原町から田中技手

平土木監督所長板谷甚二郎氏が仙台鐵山監督局技師に榮轉したる後任の原町土木監督所長田中幸吉氏は明日十三日着任の筈であるが田中氏は本縣土木關係の古參者で判任三級を受け技師級の所長と稱されてゐる、原町土木の後任所長は本課から大井吉次技手來任されるが氏は石城郡磐崎村の出身である、又平土木の蛭田川改修大森技手は縣土木課に轉じ此の後任は富岡土木から齋藤技手が來ることになつた

### 明日着任

#### 原町から田中技手

平土木監督所長板谷甚二郎氏が仙台鐵山監督局技師に榮轉したる後任の原町土木監督所長田中幸吉氏は明日十三日着任の筈であるが田中氏は本縣土木關係の古參者で判任三級を受け技師級の所長と稱されてゐる、原町土木の後任所長は本課から大井吉次技手來任されるが氏は石城郡磐崎村の出身である、又平土木の蛭田川改修大森技手は縣土木課に轉じ此の後任は富岡土木から齋藤技手が來ることになつた

### 赤井驛無事故

#### 運輸事務所賞

磐城東線赤井驛では去る十年十月から五百日間(十六ヶ月)の運輸無事故により今日十二日午後三時半高橋所長から運輸事務所賞の賞状を授與する

### 平第三校に寄附

#### 吉氏は此の程平第三校に児童の遊戯用「階梯」を寄附した

### 局長初巡視

#### 新任の長崎氏

東京鐵道局長長崎徳之助氏は水戸事務所管内の初巡視で來九月一日平驛着同驛管内各區を巡視し當日は市内住吉屋本店に宿泊の豫定である

### 湯本町に馬糞

#### 市場新設

九月廿三日開場  
石城郡の馬糞市場は今湯本町に増設される九月二十三日第一回の開場をなすことになつたが時局柄相場高を豫想され相當の活況を呈するものと見られてゐるが馬頭数は五十頭の見込みであると

### 赤井驛無事故

#### 運輸事務所賞

磐城東線赤井驛では去る十年十月から五百日間(十六ヶ月)の運輸無事故により今日十二日午後三時半高橋所長から運輸事務所賞の賞状を授與する

### 河原子の泥湯本

#### て攪る

### 三人組の無飲

#### 緩坑の採炭夫

石城郡内郷村の緩坑採炭夫緩坑赤木合宿所居住採炭夫佐藤正(四)同佐藤初男(三)同鈴木勲(五)三名は昨日十一日夜平市七夕祭の見物に來て市内三丁目目カフエー米久方に於て何れも無錢で四回餘の飲食をなし折柄の街頭の賑沓を奇貨とし人混みの中に逃走を企てゐるところを警井刑事に睨まれて検査された

### 豚コレラ注射

#### 平市に於ける豚コレラの定期豫防注射は片寄電託獸醫により去る九日から十一日及び十三日間で終つたが總數二百頭である

今晩も明日も南の風、晴  
(小名濱測候所)

# 農業

## 大豆の大敵 線虫退治 (下)

農林省本腰の対策  
細根には多くの白い「けし粒」大の病状物が付着してゐる。

誘因としては新開地よりも熟期に發生することが多い。特に前年の被害圃に連作すれば發生が多い。一般に瘦せ地は被害が甚だしい、肥料を充分にやれば被害が軽減される、土質は砂質のものより乾燥して土質堅固なところによく發生する、また降雨ある場合は往々にして發病が少ないと云ふ現象が認められてゐる。

防除法は未だ完成されてゐないが先づ第一に種子は純良なものばかりを選び且つ被害率の少ない品種を用ふるのが第一である。

運作は大體三ヶ年を限度として隔てることを要する、かつ肥料を充分にやつて大豆を健全に育成し土地は秋の收穫後耕起して寒氣に曝すことがよい、發病地に使用した農具は消毒した被害株根は焼却し別に目的以外の植物を栽培し其根に寄生するのを待つて抜き取つて焼却するの一方法である、右について農林省上達技師は左の如く云つてゐる。

線虫は古くから知られてはゐたのであるが今日まで被害が甚だしくなかつたので注目されなかつた、ところが農林省の東北地方の試験地が次々に侵されたのでびつくりしたわけだ、これを防除するには少なくとも三年間は輪作を避くべきで其の他具体的などは今後の研究にまつ外はない(元)

## 暑中御伺

縣會議員 早川清久

大日本電力株式會社

平營業所  
電話七五番

銘酒 小錦醸造元

石城郡高久村 電話高久二番

銘酒 花の井一醸造元

大平睦四郎  
石城郡勿來町 電話五七番

良品廉賣に優る

金屋商店

商略なし

銘酒 清水正宗 釀造元

小野晋平  
石城郡小名濱町 電話六番

石城郡植田町 古川傳一

石城郡錦村 山崎登

堀江工業株式會社

專務取締役 鈴木唯治  
平市搦槌小路 電話五一番

## 牛も豚も優良品の自慢

肉の御用命は 三三三 平市 田町

ガソリン モビール油  
日本株式會社 石油株式會社  
特約販賣  
油問屋 關内油店  
平市 電話一八番

表代城磐 酒銘  
合 美味味 經濟 醬油  
ヤマハ 醬油  
社會名合崎山 番十話電

諸毒下りの大妙藥  
安流丸  
持約山野遠藥局  
千町五丁目角

レストラン サロシ  
喫茶 茶。専。食。喫。  
酒場を兼ねた。  
町田平 二五三電

内科 小兒科  
大森醫院  
醫學士 大森勇  
平市南町 電話二五八番

内科 小兒科  
外科 花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科  
平市田町 電話三三三番  
院長 醫學士 高久忠

(血液検査毎日) イソデモ  
入院デキマス  
醫學博士 北川芳夫  
技師 小林良次

外科一般 泌尿器科  
北川外科  
平市新川町二七(電話四六四)

平病院 (平市元共濟病院跡)  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
内科 院長 醫學博士 鈴木定藏  
小兒科 醫學士 木下基一  
皮膚泌尿器科 部長 醫學士 池谷宗三郎  
レントゲン科 部長 醫學博士 鈴木定藏  
物理療法科 技師 岡田重徳  
藥劑師 部長 藥劑師 吉本幸平  
診療時間 毎日午前八時より午後九時止  
……夜間診療に從事す(急患は此  
……往診隨時、病室完備 (自炊の便あり)

診療科目 一般  
保存科、補綴科、齒科、齒科工務科  
齒列矯正科、小兒齒科、齒科材料科  
一、口 外科  
一、レントゲン科  
平市田町 (松月堂向ひ) 電話五〇九番  
院長 醫學士 中野惠次  
醫學士 西川誠